

南部中学校総括評価表 (No1) 平成28年度末

		自 己 評 価		学 校 関 係 者 評 価		次 年 度 へ の 課 題 と 今 後 の 改 善 方 策																	
重 点 課 題	重 点 目 標	評 価 指 標 と 活 動 計 画	評 価		学 校 関 係 者 の 意 見																		
1 学校運営	①教育目標・教育方針の教職員、生徒、保護者への周知徹底 ②教職員の資質の向上 ③保護者・地域への情報発信	評 価 指 標	①わかりやすいとする保護者 ②資質向上に取り組んでいる教員 ③学校は情報発信していると考える保護者	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="text-align: left;">評価指標の達成度</th> <td></td> </tr> <tr> <td>①</td> <td style="text-align: center;">B</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td style="text-align: center;">A</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td style="text-align: center;">B</td> </tr> </table>	評価指標の達成度		①	B	②	A	③	B	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="text-align: left;">総合評定</th> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">評価指標の達成度を平均</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(評定)</td> <td style="text-align: center;">A</td> </tr> <tr> <td>(所見)</td> <td>「総合的な教師力向上のための調査研究事業」を活用して校内研修を活性化し、教職員の資質向上に努めた。</td> </tr> </table>	総合評定		評価指標の達成度を平均		(評定)	A	(所見)	「総合的な教師力向上のための調査研究事業」を活用して校内研修を活性化し、教職員の資質向上に努めた。	学校の教育目標や教育方針について、保護者や地域に理解を促し理解してもらうことで一緒に指導していく体制が築かれ、いっそう充実した教育になる。学校教育を支援できる保護者を増やすために、学校も便りの配付や連絡メールの活用で情報発信を続けてもらいたい。	行事での説明の機会を生かすとともに、学年だより・保健室だより・給食だより等定期発行の便りの他、必要な項目について随時丁寧な説明を心掛ける。HPについても、行事欄と各種便りの欄を充実させ、各学年や担当が適宜更新できるようチェック体制を整備する。教職員の資質向上に関しては、学校評価計画を生かして PDCA サイクルを確立し、各種主任を中心に研修を充実させる。
		評価指標の達成度																					
①	B																						
②	A																						
③	B																						
総合評定																							
評価指標の達成度を平均																							
(評定)	A																						
(所見)	「総合的な教師力向上のための調査研究事業」を活用して校内研修を活性化し、教職員の資質向上に努めた。																						
活 動 計 画	① PTA 総会や学校行事等での教育目標・教育方針の説明・周知と各種たよりやHPの活用 ②「総合的な教師力向上のための調査研究事業」を活用した授業改善の取組 ③連絡メールやHP更新など迅速な情報発信	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="text-align: left;">活動計画の実施状況</th> <td></td> </tr> <tr> <td>① PTA 総会と学校行事での説明と、各種たよりとHP を充実させ、周知と理解に努めた。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②-1 事業を活用し、授業改善の校内研修を年11回実施</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②-2 メンター制を取り入れた校内研修の充実</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③ 気象警報発表時等に連絡メールを活用</td> <td></td> </tr> </table>	活動計画の実施状況		① PTA 総会と学校行事での説明と、各種たよりとHP を充実させ、周知と理解に努めた。		②-1 事業を活用し、授業改善の校内研修を年11回実施		②-2 メンター制を取り入れた校内研修の充実		③ 気象警報発表時等に連絡メールを活用												
活動計画の実施状況																							
① PTA 総会と学校行事での説明と、各種たよりとHP を充実させ、周知と理解に努めた。																							
②-1 事業を活用し、授業改善の校内研修を年11回実施																							
②-2 メンター制を取り入れた校内研修の充実																							
③ 気象警報発表時等に連絡メールを活用																							
2 学力向上・教科指導	①学習意欲の向上と学習習慣の確立 ②授業力向上の工夫・充実 ③家庭学習の定着	評 価 指 標	①-1教員が工夫して授業を進めていると考える生徒 ①-2授業中に質問をしている生徒 ② 授業力の向上に努めている教員 ③-1家庭学習を行っている生徒 ③-2家庭学習の時間増の工夫をしている教員	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="text-align: left;">評価指標の達成度</th> <td></td> </tr> <tr> <td>①-1</td> <td style="text-align: center;">A</td> </tr> <tr> <td>①-2</td> <td style="text-align: center;">C</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td style="text-align: center;">A</td> </tr> <tr> <td>③-1</td> <td style="text-align: center;">B</td> </tr> <tr> <td>③-2</td> <td style="text-align: center;">A</td> </tr> </table>	評価指標の達成度		①-1	A	①-2	C	②	A	③-1	B	③-2	A	(評定) B (所見) 1・3年生の数学の少人数向けの取組等により、授業に関する生徒の満足度は高くなった。授業中質問をする生徒の割合は少なく、言語活動を意図的に設定する授業が必要である。	全国学力・学習状況調査やステップアップテストの分析結果を詳しく聞くことができた。生徒は、学校生活を落ち着いて送っており、学習にもしっかりと取り組んでいる様子はよくわかった。上に向けた熱心な取組がされているので、これからも続けてもらいたい。					
		評価指標の達成度																					
①-1	A																						
①-2	C																						
②	A																						
③-1	B																						
③-2	A																						
活 動 計 画	①-1 学力向上検討委員会における実行プランの作成 ①-2 少人数学習やTT 指導の充実 ②-1「徳島県学学校訪問事業」の機会を活用し、言語活動に焦点をあてた研究や研修の実施 ②-2朝読書の推進 ③-1宿題等の工夫及びその点検 ③-2放課後学習の実施	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="text-align: left;">活動計画の実施状況</th> <td></td> </tr> <tr> <td>①-1学習の手引き」を継続使用し、効率的な学習指導を実施</td> <td></td> </tr> <tr> <td>①-2 1年数学の少人数授業による基礎的基本的な内容の定着</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②-1 言語活動の充実を目指した研究授業を実施し、講師を招き年2回全校一斉に授業研究会に取り組んだ。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②-2 1, 2年生で、朝読書を実施</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③-1 宿題等の課題の工夫と点検、長期休業中の課題とそれに基づく確認テストを実施</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③-2 放課後の補充学習を計画的に実施</td> <td></td> </tr> </table>	活動計画の実施状況		①-1学習の手引き」を継続使用し、効率的な学習指導を実施		①-2 1年数学の少人数授業による基礎的基本的な内容の定着		②-1 言語活動の充実を目指した研究授業を実施し、講師を招き年2回全校一斉に授業研究会に取り組んだ。		②-2 1, 2年生で、朝読書を実施		③-1 宿題等の課題の工夫と点検、長期休業中の課題とそれに基づく確認テストを実施		③-2 放課後の補充学習を計画的に実施								
活動計画の実施状況																							
①-1学習の手引き」を継続使用し、効率的な学習指導を実施																							
①-2 1年数学の少人数授業による基礎的基本的な内容の定着																							
②-1 言語活動の充実を目指した研究授業を実施し、講師を招き年2回全校一斉に授業研究会に取り組んだ。																							
②-2 1, 2年生で、朝読書を実施																							
③-1 宿題等の課題の工夫と点検、長期休業中の課題とそれに基づく確認テストを実施																							
③-2 放課後の補充学習を計画的に実施																							
3 生徒指導・交通指導	① 基本的な生活習慣の定着 ②-1 生徒理解と相談体制の充実 ②-2 いじめ防止対策 ③ 交通指導の充実	評 価 指 標	① 遅刻せずに登校する生徒 ②-1教員が適切に指導しているとする保護者 ②-2いじめは絶対に許さないとする教員 ②-3いじめ問題を相談しやすいとする生徒 ③-1交通ルールを守っている生徒 ③-2交通ルールを指導する教員	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="text-align: left;">評価指標の達成度</th> <td></td> </tr> <tr> <td>①</td> <td style="text-align: center;">A</td> </tr> <tr> <td>②-1</td> <td style="text-align: center;">B</td> </tr> <tr> <td>②-2</td> <td style="text-align: center;">A</td> </tr> <tr> <td>②-3</td> <td style="text-align: center;">B</td> </tr> <tr> <td>③-1</td> <td style="text-align: center;">A</td> </tr> <tr> <td>③-2</td> <td style="text-align: center;">A</td> </tr> </table>	評価指標の達成度		①	A	②-1	B	②-2	A	②-3	B	③-1	A	③-2	A	(評定) A (所見) 生徒がいじめを相談できる環境をつくり「いじめは許さない」という意識を高め、いじめの早期発見・早期対応に取り組む。	生徒の登校時間帯では、信号無視をする車に多く出会い、心配をしていた。自転車通学生には、十分安全確認をして登校してほしい。登校はゆとりをもってできるよう、また安全な登校に心掛けるよう保護者や地域への協力を求めていきたい。いじめ問題について、相談しやすいとする生徒が3分の2いるが、逆に相談しにくいとする生徒も3分の1いる。一人一人の教員が自分を振り返るよい機会と捉え、「学校いじめ防止基本方針」に基づく取組を継続してほしい。			
		評価指標の達成度																					
①	A																						
②-1	B																						
②-2	A																						
②-3	B																						
③-1	A																						
③-2	A																						
活 動 計 画	①チャイム着席・交通立哨指導 ②-1相談体制の確立 ②-2いじめ問題等対策委員会を活かした校内体制の確立 ③計画的な安全教育への取り組み	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="text-align: left;">活動計画の実施状況</th> <td></td> </tr> <tr> <td>①朝と休み時間の巡視を実施</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②-1 SC を中心とした相談活動と随時家庭訪問実施 適応指導教室と連携</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②-2 学校いじめ防止基本方針に基づくいじめ問題等対策委員会において年5回アンケート調査を実施</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③交通安全教室と適宜登下校時の立哨指導を実施</td> <td></td> </tr> </table>	活動計画の実施状況		①朝と休み時間の巡視を実施		②-1 SC を中心とした相談活動と随時家庭訪問実施 適応指導教室と連携		②-2 学校いじめ防止基本方針に基づくいじめ問題等対策委員会において年5回アンケート調査を実施		③交通安全教室と適宜登下校時の立哨指導を実施												
活動計画の実施状況																							
①朝と休み時間の巡視を実施																							
②-1 SC を中心とした相談活動と随時家庭訪問実施 適応指導教室と連携																							
②-2 学校いじめ防止基本方針に基づくいじめ問題等対策委員会において年5回アンケート調査を実施																							
③交通安全教室と適宜登下校時の立哨指導を実施																							
4 保健指導・給食指導・環境美化	①保健指導の徹底 ②給食指導の徹底 ③環境美化の推進	評 価 指 標	①-1健康に気をつけている生徒 ①-2健康に生活できるよう指導する教員 ②-1食生活に活関心を持っている生徒 ②-2食生活を見直すよう指導する教員 ③-1清掃活動に積極的な生徒 ③-2清掃指導ができていると考える教員	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="text-align: left;">評価指標の達成度</th> <td></td> </tr> <tr> <td>①-1</td> <td style="text-align: center;">A</td> </tr> <tr> <td>①-2</td> <td style="text-align: center;">A</td> </tr> <tr> <td>②-1</td> <td style="text-align: center;">B</td> </tr> <tr> <td>②-2</td> <td style="text-align: center;">A</td> </tr> <tr> <td>③-1</td> <td style="text-align: center;">A</td> </tr> <tr> <td>③-2</td> <td style="text-align: center;">A</td> </tr> </table>	評価指標の達成度		①-1	A	①-2	A	②-1	B	②-2	A	③-1	A	③-2	A	(評定) A (所見) 基本的な生活習慣の定着 ができています。「食育だより」を発行したことで、生徒だけでなく保護者にも啓発となった。	「生徒アンケート」結果からもわかるように生徒は家庭で大切にされている。さらに、家庭・地域社会との関わりを知ってほしい。そこで人の役に立とうという思い、道徳性の涵養を育ててほしい。清掃活動では、専門委員会活動で自主的な取組を増やし、生徒のやる気を育てていく。			
		評価指標の達成度																					
①-1	A																						
①-2	A																						
②-1	B																						
②-2	A																						
③-1	A																						
③-2	A																						
活 動 計 画	①保健指導計画の立案と学校保健委員会の開催 ②給食指導計画の立案と給食時間の指導 ③-1清掃担当者による清掃計画の立案と清掃指導 ③-2 NVC 委員会による定期的な活動	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="text-align: left;">活動計画の実施状況</th> <td></td> </tr> <tr> <td>①歯科医によるブラッシング指導の実施、毎月の保健だよりと学校保健委員会を開催</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②-1全教職員で給食時間の指導と「食育タイム」の充実</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②-2食育授業の実施と「食育だより」の発行</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③-1清掃担当者による清掃強化週間の立案と全教職員による清掃指導を実施</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③-2 NVC 委員会による活動の実施</td> <td></td> </tr> </table>	活動計画の実施状況		①歯科医によるブラッシング指導の実施、毎月の保健だよりと学校保健委員会を開催		②-1全教職員で給食時間の指導と「食育タイム」の充実		②-2食育授業の実施と「食育だより」の発行		③-1清掃担当者による清掃強化週間の立案と全教職員による清掃指導を実施		③-2 NVC 委員会による活動の実施										
活動計画の実施状況																							
①歯科医によるブラッシング指導の実施、毎月の保健だよりと学校保健委員会を開催																							
②-1全教職員で給食時間の指導と「食育タイム」の充実																							
②-2食育授業の実施と「食育だより」の発行																							
③-1清掃担当者による清掃強化週間の立案と全教職員による清掃指導を実施																							
③-2 NVC 委員会による活動の実施																							

南部中学校総括評価表(No2) 平成28年度末

重点課題	重点目標	自己評価		学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策
		評価指標と活動計画	評価		
5図書館教育・キャリア教育・ 生徒会活動	①図書館の積極的な活用 ②進路指導の充実 ③生徒会活動の活性化	評価指標	評価指標の達成度	総合評定 (評定) B (所見) 生徒は生徒会活動や専門委員会の活動に積極的に取り組む生徒が増えているのは、よいこと。社会に出たときに必要な人の役に立つという思いを育てることにつながる。	
		①-1授業で図書室を活用する教員 ①-2年間10冊以上本を読む生徒 ②-1将来の職業に関心がある生徒 ②-2継続的な進路指導をしている教員 ③-1生徒会行事等に積極的な生徒 ③-2専門委員会が充実していると考える教員	①-1 A ①-2 C ②-1 B ②-2 A ③-1 B ③-2 A		
		②3年間を見通した進路指導計画的計画の立案と職場体験活動の立案・実施 ③生徒会活動の見直し	②発達段階に応じた指導計画にそって実施。3年は春に職場体験活動を実施 ③-1月1回専門員会で自主的な活動を実施 ③-2生徒会活動の主力となる本部役員の育成		
6人権教育・道徳教育・特別支援教育	①人権教育の推進 ②道徳教育の推進 ③特別支援教育の推進	評価指標	評価指標の達成度	(評定) A (所見) 自尊感情や自己肯定感をいっそう高められるよう、教師が生徒に自信を持たせたり自分の良さに気づに取り入れるよう工夫する。	生徒は、自分ががんばったことを教員や保護者にほめてもらおうとそれが自信となって自己肯定感が高まる。その繰り返しの中で自尊感情は育っていく。部活動にしても、昨年度に引続きすばらしい成果を収めている。このようにがんばっていることを学校・家庭・地域に発信し、機会を捉えてせいっぱいほめてほしい。
		①-1学校に来るのが楽しい生徒 ①-2温かい言葉がけをしている教員 ②私には良いところがあると考える生徒 ③-1友だちの良さを見つけている生徒 ③-2支援の必要な生徒を把握している教員	①-1 A ①-2 A ② B ③-1 A ③-2 A		
		活動計画 ①人権教育主事を中心に人権教育の立案 ②道徳教育推進教師を中心に活動計画を立案 ③-2入学前を含めて年間4回の教育相談を実施して、特別な支援を必要とする生徒のニーズに応じた支援に努める。	活動計画の実施状況 ①人権教育主事を中心に活動計画に基づいて活動（PTA 人推部と連携して人権劇等）を実施 ②道徳教育推進教師を中心に学年の活動計画に基づいて研修を実施 ③-2 校区内小学校支援学級との連携を強化し、参観授業や個別のニーズや支援について面談数増		人権教育主事を中心とした活動（人権劇・人権新聞発行・人権ソング活動・人権教育講演会）、道徳教育推進教師と中心とした取組（伝統文化の継承と地域の環境保全への取組・教科化に向けての授業研究）、特別支援コーディネーターを中心とした研修、教育相談を核として計画的に取り組む。

「評定」の基準 A:十分達成できた B:おおむね達成できた C:達成できなかった